

神話伝説の山里

「高千穂郷」通信

平成15年 3月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.4



3月21日から走り始めた「トロッコ神楽号」。「手力雄 (たぢから)」(右側)と「天鈿女 (あめのつめ)」(左側)の2両編成で運行(雲海橋から撮影)



列車の正面には、県伝統工芸士の工藤正任氏(高千穂町)が彫った木彫りの神楽面が付けられている。



トロッコ神楽号の外観(TR日之影温泉駅)

トロッコ列車で
「高千穂郷」に
行ってみよう。



五ヶ瀬川の渓谷に子供達も大喜び。列車内の椅子と机は木製(高千穂産のケヤキ)。窓は暖かくなっただけならず予定。



手入れの行き届いた鳥屋岳の森林（高千穂町）

豊かな森を守ろう

西臼杵支庁では、豊かな森を次の世代に引き継ぐため、森を守り育てる人づくりに取り組んでいます。

「水源の森づくり」体験 ～森林の大切さを学ぶために～

最近では、環境問題を背景にして、延岡市民グループ等による森林への植樹活動（ボランティア）が盛んに行われています。

3月2日は、高千穂町押方の鳥屋岳において、「日本一の水源の森づくりを行おう」をスローガンに延岡市の子供たちなどが多数参加し、「水源の森づくり」体験が行われました。

西臼杵地区林業研究グループや支庁林務課職員等の指導のもと、シャクナゲやドウダンツツジの植樹、間伐作業体験、土の保水力を学ぶ実験などが行われ、「森林の大切さ」を実感する一日となりました。



鳥屋岳での植樹の様子



西臼杵地区林業研究グループの指導を受けながらシャクナゲを植樹

「いきいきジュニア森の学校」開催 ～21世紀の西臼杵の林業を担うために～

西臼杵支庁では、次の世代を担う子供達に森林・林業の大切さを理解してもらおうと、毎年「いきいきジュニア森の学校」を開催しています。

今年も、3月7日に五ヶ瀬町の鞍岡中学校で、椎茸の駒打ち体験や料理教室を行いました。鞍岡地区は、管内でも有数の椎茸生産地ですが、生徒達は日頃、このような体験も少ないようで、一生懸命に取り組む姿と目の輝きには、目を見張るものがありました。

このような機会を通じて一人でも多くの生徒が西臼杵の林業の担い手として育てられることを期待しています。



駒打ち体験の様子



料理教室では「椎茸入りオムレツ」に挑戦

「五ヶ所高原」の「見立渓谷」 進められる広域的な林道整備

高千穂町の五ヶ所高原と日之影町の見立渓谷を結び総延長60km、利用区域内森林面積5千8百畝の林道開設を進めています。

この広域的な林道は、左の地図のとおり「親父山・五ヶ所線」、「道元越線」、「ふるさと林道」「上岩戸線」、「黒原・煤市線」の4つの路線からなりますが、現在、「道元越線」(高千穂電泉〜上岩戸)のみが全面開通し、舗装も完了したところです。



整備の進む「親父山・五ヶ所線」

西臼杵北部の山間地域を横断する4路線が開通すると、森林資源の活用はもとより地域の交流などにも資する広域ネットワークができていきます。



五ヶ瀬町に巨大やじろべえ出現

ゆうひのさとおおはし
夕日の里大橋(ふるさと農道)



建設中の「夕日の里大橋」

五ヶ瀬町三ヶ所川(桑野内〜三ヶ所)で建設している夕日の里大橋は、全長240mのうち92mが完成し、平成16年3月の完成を目指し、着々と工事が進められています。

橋脚の高さが約90m(30階建ビル相当)もあり、国内でも最大級の高さとなります。

施工は、「張り出し架設工法」と呼ばれ、やじろべえのようにバランスをとりながら兩岸へ延ばしていきます。

この橋が完成しますと、桑野内方面から国道218号までは、10分程度短縮されるばかりでなく、大型車の通行も容易となり、冬場の積雪や凍結時の交通の安全性が高まります。

【夕日の里大橋のデータ】

橋長：240m 全幅：10m 水面からの高さ：95m
構造形式：プレストレストコンクリート2径間T型ラーメン橋
架設工法：張り出し架設工法 総事業費：約20億円

県道緒方高千穂線「笹の都工区」 全線開通

高千穂町岩戸の県道緒方高千穂線笹の都工区で整備を進めていた上瀬かみつせ橋がこのほど完成し、3月13日に全線開通しました。

この上瀬橋は、昭和29年に架けられた上津瀬橋の上流側に建設された橋長72.5mの鋼橋で、乗用車同士の離合もできなかった旧橋に比べ、車道は二車線で土呂又川上流側には3.5mの歩道も整備しました。

橋名板の文字を岩戸小・中学校の児童・生徒に書いてもらうなど、地元の方々に大変愛がもたらえるものと思われます。



三組の三世代夫婦を先頭の上瀬橋の渡り初めを行って、完成を祝いました。



岩戸小学校の佐藤泉希さんが書いた橋名板



上瀬橋の親柱には、高千穂神楽のレリーフ板が張り付けられています。

【笹の都工区のデータ】

全体延長：580m
総事業費：約15億5千万円

新名所発見！ 国見大橋見学会

西臼杵支庁では、広域農道整備事業により板屋～上野間に五ヶ瀬川を跨ぐ国見大橋を建設中で、3月14日に管内の各階層の皆さんを対象に現地見学会を開催しました。橋の上からは、五ヶ瀬川の深い渓谷や谷底の奇岩など、素晴らしい眺望を楽しむことができ、今後、新たな観光スポットとして注目されることが期待されます。



現場担当者の説明を熱心に聞く参加者



建設中の国見大橋。完成は今年11月(予定)



高千穂峡とはひと味違う溪谷美

森林理想郷 「フォレストピアからの贈り物」



博多駅イベントスペースGIGA (3月11日)

県北フォレストピア実行委員会は、恒例となった特産品販売会を博多駅で行いました。釜炒り茶や乾椎茸、漬け物、そばなどの圏域特産品を販売し、多くのお客様で賑わいました。

ひのかげぐり 「生産振興フォーラム」を開催！



熱気に包まれた生産振興フォーラム (3月4日)

日之影町福祉館においてくり品質日本一の確立に向けた「ひのかげぐり生産振興フォーラム」が開催されました。意見交換が繰り広げられた会場は、終始参加者の熱気に包まれていました。

編集後記

早速、TRのトロッコ列車に乗ってみた。窓の部分がかなり大きく、五ヶ瀬川の渓谷や滝、祖母・傾の山々など、次々に現れる風景が大パノラマのように目の前に迫ってくる。▶座席は、高千穂産のケヤキ材で、座席毎に少しずつ形が違っていて味わい深い。最初は少し堅く感じたが、木の温もりが心地よく、不思議といつもより疲れなかった。▶延岡から高千穂までは、トンネルが22カ所ある。暗くなった列車内は、天井と壁に付けられたレトロな照明の優しい光が旅情を感じさせ、なかなかいい雰囲気だった。▶今から新緑の美しい季節。トロッコ列車に乗って高千穂郷に来てみてください。きっと新しい発見があるはずですよ。

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

西臼杵でガンバル支庁職員

○桜の植樹ボランティア (3月1日)



高千穂町浅ヶ部地区の桜の植樹に参加した皆さん



桜の植樹には支庁のボランティア9名が参加。2m程の山桜80本を地元をはじめ、役場や九電のボランティアの方々とともに、植樹を行いました。植樹後は、交流会も行われ、カッポ酒が振る舞われました。